

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



なごや  
ちくさ  
WEEKLY

名古屋千種ロータリークラブ  
承認 1982年 8月24日  
例会日 火曜日 12:30  
例会場 愛知厚生年金会館  
事務局 千464 千種区池下一丁目4番18号  
井上ビル4F D号  
Tel 763-5110  
会長 竹内真三

No. 49

みんなにロータリーを —— みんなに奉仕を  
Share Rotary —— Serve People

1983~84年度RI会長 ウィリアムE. スケルトン

第93回例会 昭和59年6月19日(火) 曇

クラブアセンブリー 於 愛知厚生年金会館

## ◇“奉仕の理想”

### ◇出席報告

会員 55 (56) 名 出席 41名  
出席率 74.55 %  
前回 6月12日 (修正出席率)96.36 %

### make up

橋本君(6/14 東南), 堀江君(6/15 港), 加藤(敏)君(6/16 守山), 木全君(6/11 中), 久保田君(6/18 東), 松居君(6/18 東), 水野(民)君(6/11 中), 新美君(6/17 豊川), 大谷君(6/18 東), 笹野君(6/13 和合), 菅原君(6/11 東), 鈴木(田)君(6/11 空港), 谷口君(6/15 北), 都築君(6/16 守山)

### ◇ビジター紹介 21名

### ◇誕生日祝福

三輪君(6/22)

### ◇ニコボックス

水野(民)君(地区協議会パネラーやっと終わりました。又9月には職業奉仕委員長会議よろしくお願ひします), 鈴木(田)君(長らくホームクラブを欠席いたしました), 大谷君(断りなくホームクラブ欠席いたしました), 新美君(平松本章君を入会させて頂きます), 成田君・新美君・加藤(大)君・谷口君・菊地君・西川君(地区協議会に出席させて頂きました), 松居君(事業所をこのたび移転しました), 久保田君(バッジを忘れてきて), 加藤(敏)君(先日の豊川での地区協議会への出席の際, 谷口君に時速140Kmで飛ばして快適ドライブを楽しませて頂きました), 三輪君(誕生日祝)

### ◇三輪幹事報告

1. 古川勝巳夫人の告別式が6月26日(火), 午後2時より覚王山日泰寺にて行なわれますので御連絡申しあげます。
2. 次回例会終了後, 理事役員会を開催致しますので理事役員の方は2F橋の間にお集

り下さい。

3. 例会食事費が現在の2,500円より次年度より2,800円に変更致します。

### ◇新入会員紹介



氏名 平松 <sup>もとあき</sup> 本章 君  
生年月日 昭和22年10月31日  
事業所 (株)オリエンタルビル  
中区栄 3-5-1  
TEL 241-6504  
地位 常務取締役  
自宅 千種区猫洞通1-14  
猫洞ハイツ301号  
TEL 781-0971

推薦者 新美 敢  
職業分類 ビル経営  
委員会 親睦活動

### ◇竹内会長挨拶

クラブ行事として年4回計画されておりますクラブアセンブリーの最終回であります。

本協議会で以て当年度の千種R.C.の行事が全部終了する事になります。夜間例会の形式も今回は会場はそのまま当会館とし時間を夜と昼と変更いたす事となりました。

本日はクラブ協議会とは申しましても特に変わった議題はございません。一昨日の地区協議会の御報告が済みましたら皆様夫々に席を

あちこちへ移動して頂いて、四方山話をして頂ければ結構と存じています。

どうぞ多少のアルコールも出ておりますので、建前でなく本音でもって御欲談をして頂きたいと存じます。当クラブにも十人十色の意見のある事は当たり前として先日の森P.Gのお話の“ゆとりと遊び”の精神的余裕をもってお互いに腹藏なくお話しをなさして下さい。

さて“釣り言葉”という表現があるかどうか存じませんが、私も知らず知らずに使っております。

女房などは「私が馬鹿ですから」とか「行き届きませんもんですから」とか或は最近は何も言わなくなりましたが「どうせ私は南瓜ですから」とかよく申します。こういうのを釣り言葉と申します。その調子に乗せられてウッカリ「成程、君はよくよくの馬鹿モンだ」とか「幾才になったら気がきくんぞ」とか或は「それでも鬼瓦よりはマンだぜ」なんて言うものならそれこそ当分、メンにもありつけず昨日の肌着を今日又身につけねばならぬ羽目になります。

だって君は自分で馬鹿だ気がきかぬといいたろう---それを僕がその通りだといっただけじゃないか---何をそう怒るのかという事になります。“窮鼠猫を喰む”と申します。土台、人間という奴自分では“馬鹿です。気がききませぬ”と口先では申しますが腹の底からの言葉ではないから頭は下っていません。

知ってか知らずか計算づくで言っているのですから、“こう言っておけば「いやいやそんな事はない」との返事が返ってくる”と期待しているわけです。然るに豈はからんや

“その通り”との返事をもらって、逆上してくるわけです。

ウチの従業員なんかでもよく叱られますと“こんなにあやまっているのに-----”とブツブツ言うのがいます。本当に悪かったとの自覚があれば何と叱られようと文句はない筈ですが、腹の中では3分の理屈をこねて自己弁護を致します。だから真の意味での詫びにならないのです。人間というもの仲々、頭の下がらぬ頭の高い代物だと申し上げるのです。

**善を善として認めようとせず、悪も又悪と容認出来ぬ『我の塊り』が私共です。**

これが西洋式ではどうなるかと申しますと、例を「交通事故」に引きますと、先手をうって相手の非を鳴らします、自分が如何に正当で相手に落度があったかを声高に主張する事が肝腎だそうです。腹の中では自分が悪かったと思っても決して自分が間違ってた悪かったなどは口外してはいけぬのだそうです。先手をうって自己宣伝をする事で自分をより有利な立場にもち込もうというのです。小は個人の間のかけひきから大は国家間の交渉ま

で似た様な経過をたどります。前の釣り言葉の発想と比べて、洋の東西ではこの様に夫々「(+)と(-)の文化圏」或は「自己主張と自己卑下の文化」といった事を強く感じます。

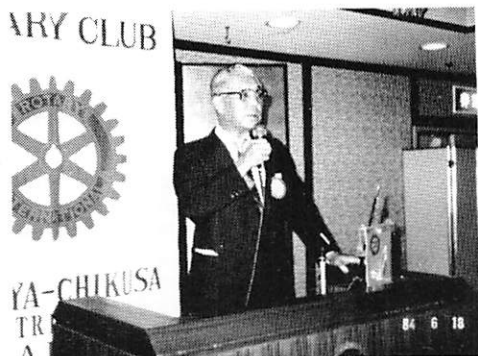
国際間の経済摩擦が喧伝されていますが、経済ばかりでなく底流には文化的な体質の差異も大きな問題でしょう。

仏教では俺程エライ者はないと威張るのを「増上慢」、私程つまらぬものはないという型の慢心を「卑下慢」と申します。形が違っただけ、表われ方が違っただけで慢心という実体は同じものです。

インギンも過ぎれば無礼となります。私共の卑下謙遜も底が知れてますので結局、上っ面だけの釣り言葉の様な事になります。固い事は抜きにして有りのまままで気楽に参りましょう。

————— クラブアセンブリー —————

#### ◆乾杯 水野民直前会長



#### ◆1984~85年度 第260地区 地区協議会報告 —— 会長部会 —— 次期会長 加藤大豊君 当クラブより会長エレクトの菊池君と共に 会長部会に出席いたしました。

次期奥谷ガバナーを中心に山田パストがパナーのお話しなども交え、会長としての心得をテーマのオリエンテーションでした。話しの内容を要約すると、会長はクラブを大所。高所から見つめる姿勢を保ち、一日に一回は幹事と連絡をとりクラブ運営の責任のもとに穎才を放つような仕事をすることでした。要は“ヤル気になれ”と発破を掛けて頂いたと理解しております。

又、次期カルロス会長のテーマである“見つけよう奉仕の新生面”をもとに新しい奉仕の道を開け、実のあるクラブにしようという全世界のロータリアンへのメッセージがテープで流されました。

新しい手続要覧が6月に出版されましたが、その中でもエレクト制の問題、クラブ奉仕委員会の選任に関して、クラブアセンブリーと

クラブフォーラムの相違についての話しが  
出ました。又ローターアクト・インターアクト  
の設立に関しても、ロータリアンの卵を育て  
るという意味で将来は1クラブ1つ設立まで  
目指したいという希望がありました。

— 幹事部会 — 次期幹事 谷口暢宏君  
次期クラブ幹事部会に出席いたしましたの  
で要約して御報告いたします。

まず最初に記録及び資料について、特に手  
続要覧・幹事要覧について心得ておくように  
というお話しがありました。

2番めとして、会長への助力についてお話  
しがありました。特にガバナー公式訪問・  
委員会の仕事・会員増強等に関して会長を後  
ろからサポートするよう指示を仰ぎました。

3番めとして、クラブ協議会・クラブフォ  
ーラムの回数と在り方についてのお話しがあ  
りましたが、これも各クラブサイドでの話し  
合いが必要かと思えます。

又幹事たるものはクラブの定款・細則を熟  
知すべきとの責任重き言葉を頂きましたので  
何分にも未熟なゆえ、皆様の御協力と御理解  
をよろしく願ひいたします。

その他ございましたが、詳細についてはク  
ラブフォーラム・各委員会等で報告させてい  
ただきます。

— クラブ奉仕部会 — 西川次期委員長

報告の前にお願いを申しあげます。すでに  
皆様のお手許にご案内が届いていると思いま  
すが、第21回ロータリー少年キャンプの参加  
募集を名古屋RCより御依頼いただいております。  
どうぞ御検討下さい。

クラブ奉仕委員会は存在そのものが不明瞭  
なのですが、各クラブで何が一番大事かを考  
えてほしいというお話しでした。委員会とし  
ては会長エレクトがクラブ奉仕委員長になっ  
ているのが5.6名で、ほとんどのクラブが副  
会長が兼任している実状です。

リーダーより、各々に「何が一番重要な委  
員会か」という質問に、軽井沢方面からのク  
ラブは親睦・会員増強が多く、内信地区は親  
睦活動が多い結果でした。その他全般的には  
親睦活動・S・A・Aが重要という答えが多か  
った様子でした。

— 会員増強部会 — 加藤(敏)次期委員長

1. 適正な構成人員は大体80名位が大方の賛  
意あり、それ以上は「クラブ」拡大が望  
ましい。
2. 昨年度5月末6,088人の260地区会員数  
が同年7月1日には50,700人となり前年  
比6人減となっていた、次期会長に粉飾  
決算的な事をして「バトンタッチ」をさ  
れないよう。

3. 会員の紹介条件として重要項目順に提示  
すれば (1)個人上の人物評価。(2)職業上  
(同一業種間)の評価。(3)社会的な評価。  
(4)地域奉仕可能 となるようです。
4. 退会者の分析を十分行いこの対策に今後  
工夫を要す。

— 職業奉仕部会 — 新美次期委員長

パネラー小委員会委員長 水野民也氏以下  
4名の指導のもとに勉強させて頂きました。  
(事例を含め以下に紹介)

1. 職業を通じて社会に奉仕することはロー  
タリーの一枚看板でありその為に職業分  
類を有し一業種を代表して入会したクラ  
ブ会員にはその遂行義務がある。
2. 金さえ儲ければ何をしておいてもよいと  
なるとロータリーの実践哲学上から言う  
と疑問を感じ得ない。
3. あまり奉仕奉仕と自己犠牲的な精神にな  
ると自分の事業の存立そのものを危うく  
し職業奉仕の継続すら出来ない。
4. 公害問題をとらえた場合お金もかゝるし、  
どうしたらよいかと心に痛みを感じその  
改善に悩んでいる姿こそロータリアンの  
真の姿ではないか。
5. 水野民也委員長が千種RCは未だ若いから  
質問しない様にと私に助け舟を下さい  
ました、心憎い程の思いやりです。この  
「思いやり」の精神こそロータリーのす  
べての奉仕に通ずるものと思えます。

— 社会奉仕部会 — 成田次期委員長

地区協議会において奥谷ガバーノミニーから、  
社会奉仕委員長に対して次のメッセージ  
がありました。

それは“まだ海図に書き込まれてない新しい  
針路”を打ち出して欲しいということでした。  
社会奉仕委員会としては、早急に検討して、  
クラブ計画書にまとめるつもりであります。  
クラブ会員の皆さんには、千種区内において  
“どのような、社会奉仕活動を進めたらよい  
と思われるのか”新しい提案をどしどし出し  
て戴きたいと思えます。

また、当クラブ社会奉仕委員会として、秋  
に、交通安全運動として千種RC主催で大々  
的にパレードを行います。会員全員の参加と  
協力をお願いします。

— 青少年奉仕部会 — 秋山次期委員長

国際ロータリーカンセコ新会長は、6つの  
方針を示された。その1つの6%会員増強運  
動として、会員一人に一人の入会、若い人々  
のためのローターアクト、インターアクト1  
クラブ1組織が提唱された。青少年部会分科  
会はそれらを受けた形で当面の活動をロータ  
ーアクト、インターアクトの増強に力点を置

いて推進することが提案、確認された。手続要覧の改正があり、今年7月からローターアクト拡張活動は社会奉仕委員会の仕事となるが、奥谷次期ガバナーの方針でこの1年に限り青少年部会の活動分野として従来通り進めて行くことになった。会場には、100名近い委員が汗を拭い乍ら1時間半に亘り。ローターアクト発足、運営等の問題点について、熱心に前向きに検討され、時間のたつのも忘れる程であった。最後に川瀬リーダーより、奉仕は各クラブ自らが考えて実践してゆこうとの提言があり分科会は盛會裡に終了した。

その後はクラブアセンブリーにおいて初めての立食式の食事でもあったせいか、各会員が気楽に自由に歩き回りながら談笑できた様子だった。



#### 第18回ゴルフ会成績

(6/20 三好(兩)C.Cにて)

R	NAME	O	I	G	Hp	NET
優勝	小坂井 盛 雄	46	48	94	23	71
2位	新 美 敢	50	49	99	25	74
3位	原 富士雄	47	55	102	28	74
4位	谷 口 暢 宏	46	44	90	15	75
5位	菅 原 宣 彦	47	41	88	13	75
B.B	林 淳 三	44	49	93	14	79

〈ベストグロス賞〉 菅原 宣彦 君

〈ドラコン賞〉 松居 敬二 君

谷口 暢宏 君

〈ニヤピン賞〉 松居 敬二 君(3)

谷口 暢宏 君(1)

(参加8名)

次回は7月27日(金)、愛知C.Cにて行なわれます。当日は会長取り切り戦も兼ねて行なわれますのでふるってご参加下さい。

(幹事・松居)

#### 国際奉仕の原点

人類がみな兄弟ならば、生きのこるためにはおたがいに助けあわなければなりません。一人一人が生きている市や町は、世界という隣近所の一部です。ですから、そこでおこる戦争はすべて内戦ということになります。こ

ういうことをロータリアンが十分に理解し、世界を眺めるようになってはじめて、国際奉仕はできるのです。核時代を迎えた現代ほど、この必要性を声高らかにうたえるべきときはありません。アメリカの哲学者であり科学者であるR・バックミンスター・フラワーは、このことをつぎのようにいっています。

「われわれは、自分自身を、協力的に、真面目に。しかも調和するように。他の人々とむすびつけてゆかねばならなくなるでしょう。われわれがもし、地球という自分たちの宇宙船をひとつの船とみ、しかも、運命共同体とみなさないかぎり、われわれはこの地球という宇宙船をうまく、長く運転してゆくことはできないでしょう。全員が生きのこるか、ひとりものこらないか、どちらかなのですから」

--ロータリアン必携：国際奉仕(第5巻)

#### 社会奉仕の原点

社会奉仕のキーワードは「参加」である。これが基礎であり、どんな社会奉仕プログラムもこの基礎があればこそ成功しうるのだ。あなたも耳にすることと思うが資金難で社会奉仕活動が制限されるとよく聞かされる。そういう場合必ずと言っていいほど資金よりも参加の不足のほうが深刻なのだ。世界的に優れたアイディアが資金不足のためではなく努力不足ゆえに葬られてきた。奉仕は慈善と異なり、単なる募金以上の意味がある。心遣いとは小切手を書くという非人間的行為以上の意味を持つ；そして思いやりあふれる人間味は、手に触れるものすべてを黄金に変えたというミダス王の手よりはるかに勝るものである。

--元R.I.理事 ラジェンドラ・サブー

#### ◆ビジターフィー変更のお知らせ(7/1以降)

名古屋名北R.C(旧) 2,500円 →(新) 2,700円

名古屋北R.C (旧) 2,500円 →(新) 2,700円

#### ◆例会変更のお知らせ

6月28日(木) 名古屋西R.C

30周年ファイナルイベントミーティングの為、午後5時30分よりホテルキャッスルプラザにて。

#### ◆次回例会(6月26日)

シャンソン歌手・平乃たか子を迎えて

(紹介 竹内君)

#### ◆次々回例会(7月3日)

新・旧会長挨拶

前年度皆出席者表彰